

課題解決型高度医療人材養成プログラム 取組の概要と推進委員会からの主なコメント

テーマ①：精神関連領域

		整理番号	3
申請担当大学名 (連携大学名)	東京大学		
事業名	職域・地域架橋型-価値に基づく支援者育成		
事業責任者	医学系研究科長 宮園 浩平		
事業の概要			
<p>本事業は、「人がどう生きるか」を、〈脳・生活・人生の統合的理解にもとづく主体価値の形成・発展〉とモデル化することにより、この「価値精神医学 (value-based psychiatry)」にもとづく支援を行える人材を育成することを目指す。価値精神医学は、①当事者の価値を支えるために、当事者との共同意思決定により回復を共同創造すること (co-production)、②トラウマによる価値の傷つきを熟知し、当事者の安全・安心・信頼を支えること (trauma-informed care)、③支援組織が管理的都合中心ではなく、当事者中心であるよう自らの組織を改革し続けること (organizational change)、を構成要素とする。このような理論構築のもと、当事者の価値を統合的に支えるための職域架橋や、当事者の地域での主体的生活を支えるための地域連携を支えるための地域連携を行える医療人やピア人材を育成する。</p>			
推進委員会からの主なコメント ○：優れた点等、●：改善を要する点等			
<p>○地域連携人材とピア人材の育成を目指す方向性は評価できる。</p> <p>○プログラム A・B・C 共に、職場架橋、地域連携を行える人材育成をするために、それぞれの専門領域を超える知識等が身に付くよう生まれ、そのための臨床フィールド・地域フィールドが明確に示され、提示された課題解決の人材育成をするための条件が、揃っているものと評価される。また、プログラム D[研究的視点を持つ] ピア人材の育成については、これまでのピア研究や人材育成プログラムをさらに発展させるものと期待される。</p> <p>●地域に対する指導体制がやや不十分と考えられる。また、実施体制の更なる具体化が望まれる。</p> <p>●一つの理念の下、4つの領域のプログラムが考えられており、それぞれ重なるフィールドで活動する人材同士が、育成場面では重なることが少なく、バラバラに育成されているという印象があることから、教育場面でもう少し交流できるプログラムがあることが望ましい。</p>			